

私立医科大学病院看護部長会のNursing Nowキャンペーンに向けた取り組み

私立大学医科大学看護部長会は、本院29病院、分院52病院の看護部長で結成されています

私立医科大学病院看護部として、災害時には、地域全体に向けた看護を提供することで貢献します。

1. 災害支援体制強化に向けて地域の医療者（行政・保健所・訪問ステーション・介護施設・医療施設）と顔の見える関係づくりを行います。

- 行政からの要請に対し、避難所の救護室へ派遣するシステムを、地域の看護部長会と連携し構築した施設もありました。看護部長会全体で連携フローを作成する必要性も認識しているところです。
- COVID19の発生に伴い、クラスターの発生した病院へ、認定看護師を派遣しています
- 加盟大学病院では、COVID19感染重症患者を数多く受け入れています
- 地域でクラスターが発生した場合でも、できる限り患者を受け入れ、貢献しています。

2. 私立医科大学看護部間で、災害時急性期医療に対応できる人材の派遣に関するネットワークをつくります。

- 災害が発生した時に、重症系の人材が不足することが考えられます。その地域では、人員の派遣は難しいと考えられます。今後の大規模災害の発生に向けて、DMATとは別に、他の大学病院から重症系病棟で対応できるナースの派遣のしくみについて構築することを考えています。



私たちはCOVID19に立ち向い、国民の命を守ります

Nursing now